

委員会では6月27日町内事務調査を実施した。

大崎保育所
事務所増築工事

事業費750万7500円で
(株)有馬工務店が施工したものである。
委員より

- 事業費が高いのではないか。
- 屋内消火施設前の、物・ガスコンロなどは撤去し安全に心掛けるべきである。
- 事務所入り口付近の構造物に突起部分があり危険である。担当者からは今後改善すると答弁がなされた。



増築された事務所

標高表示板
設置工事

事業費52万5000円で、44箇所設置場所の標高を表す看板が設置されている。

委員より

- 設置場所の雑草などが茂ることにより看板が見えなくなる可能性がある。
- 以前設置した避難所の看板は津波を想定していない。避難所としては危険な所もある。
- 大丸小学校の屋上に避難できるよう階段を設置できないか。

担当者からは、設置箇所を定期的に巡回し見えやすいようにしていく。以前の看板と今回の表示板設置場所、大丸小学校屋上避難施設については検討するとの答弁がなされた。



避難所看板はすでに撤去され誤認の無くなった標高表示板

平成23年度基金事業委託分(直轄を除く)

事業名	委託先	金額(万円)	主な事業内容
リサイクル社会形成支援事業	㈲そおりサイクルセンター	1,200	小型家電、電気コード、プリンターインク、トナー、ペットボトル等の再分別・生ごみ飼料化実証・アルミ缶を利用した商品開発
まるごと交流・連携推進事業	大崎ものづくりネットワーク振興会	2,400	企業等のPR・ひと、もの、地域づくりの研修・地元食材を利用した軽食喫茶の運営・農産物の販売
農商工連携推進事業	あすばる大崎(さつま麺業株)	1,760	うなぎの燻製・桑茶ソフトクリームを試作・地元産を使った料理を提供する食堂運営
ふるさと雇用推進事業	くのに松原管理者アウトドアネットワーク株	2,600	体験型観光の創出、PR・スポーツ合宿の誘致・セグウェイを活用したガイドツアー
空き家等情報提供事業	㈲小野設計	300	空き家マップの作成 空き家情報を町ホームページに掲載
観光施設環境整備事業	シルバー人材センター	300	大崎海岸の清掃・海岸保全の啓発 動植物への再生環境の提供
地域包括支援センター相談支援体制強化事業	医療法人 玲心会	520	2次予防事業対象者把握 センター業務の事務補助
ボランティアコーディネーター育成事業	大崎町社会福祉協議会	500	ボランティアコーディネーター・ボランティアリーダー防災士等の必要な知識技能研修、育成
不法投棄対策事業	シルバー人材センター	850	ポイ捨てごみ撤去・不法投棄パトロール 不法投棄箇所マップ作成・ごみ出し困難者支援
農業体験促進事業	くのに松原管理者アウトドアネットワーク株	400	農業体験等のプログラムの作成 グリーンツーリズム協会の設置・受入農家民泊の発掘・食育の推進
松林背後農地保全事業	石原建設株	1,995	森林育成阻害状況の確認、松林内の雑草、雑木等の伐採 伐根防風林機能保全
町有林等環境整備事業	曾於地区森林組合	466	町有林の整備・樹木の管理・林道等の草払い 不法投棄ごみの回収表示板の設置
農業後継者対策事業	大崎町担い手育成総合支援協議会	720	認定農業者の経営改善計画書の作成、取り組み状況把握・新規就農者等の掘り起し・畑地かんがい事業の推進
菱田海岸クリーンアップ事業	大崎町シルバー人材センター	198	景観維持業務(菱田海岸・農村公園等)

(千円以下 四捨五入)

ふるさと雇用再生・緊急雇用創出 2基金事業

今回の調査によると、事業目的である短期雇用の確保はできたものの、事業内容を十分達成しているとはいえない。特に体験型観光(グリーンツーリズム関係)では直轄事業194万3553円と合わせ、多くの財源が提供される事業である。

使われている。費用対効果の面で疑問が残る担当課へ提言した。国の特例交付金により県が基金を造成し、その基金を活用し離職を余儀なくされた失業者に対して、短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業である。

本町ではふるさと雇用、緊急雇用の26の事業を実施している。委員会では所管を超える事業(町が直接実施した事業11事業、委託事業15事業合計1億8286万3536円)について、本会議議決を経て調査した。